新プラ法に関する分別計画/実績表（９月）

計 画	リサイクル率	100%

実 績	リサイクル率	88.18%

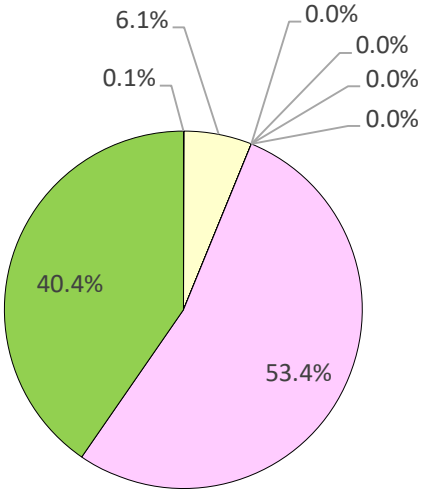
マテリアル	52.53%

ケミカル	3.25%

サーマル	32.40%

ｴﾐｯｼｮﾝ	11.82%

一次運搬数量・CO2排出量



硬 質	286
軟質非塩素	1,245
硬質・軟質塩素	584
複合材・特殊物	228
内 訳 数 量	2,343.0
硬 質	127
軟質非塩素	1,294
硬質・軟質塩素	85
複合材・特殊物	264
内 訳 数 量	1,770.0

品 名	数量	CO2
非塩素軟質系（ｽﾏｺﾞ）	3.0	0
非塩素軟質系（TSB）	269.0	0
塩素・非塩素軟質系	0.0	0.000
硬質系（ﾌﾚｺﾝ）	0.0	0.000
Cプラ（ﾌﾚｺﾝ）	0.0	0.000
Bプラ（ﾌﾚｺﾝ）	0.0	0.000
廃プラ未分類	2,343.0	7.732
廃プラ混合	1,770.0	5.841
合計	4,385.0	13.573

中間処理・CO2排出量

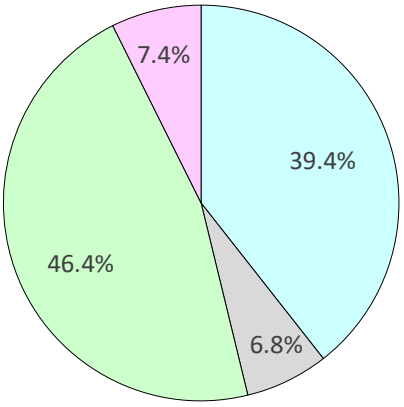
破砕・圧縮率	63.5 %

破砕・圧縮量	2,784.0 m3

電気	11,516 kwh	0.000 t-CO2

燃料	4,730 ℓ	12.339 t-CO2

二次運搬数量CO2排出量



用 途	数量	CO2
マテリアル	841.0	11.266
ケミカル	52.0	1.939
サーマル	518.7	13.270
エミッション	189.3	2.109
合計	1,601.0	28.584

※新プラ法：プラスチックに関わる資源循環の促進等に関する法律

2022年4月1日施行

品名別仕様先別搬出実績表 （９月）

品目	仕様先	用途	M．C．T．E （㎥）				品目別搬出数量 （㎥）
			M:ﾏﾃﾘｱﾙ	C:ｹﾐｶﾙ	T:ｻｰﾏﾙ	E:ｴﾐｯｼｮﾝ	
廃プラ	リファイン	塩ビシート原料	30.0				681.0
	エコロ	再生原料	16.0				
	不二桂商事	再生原料	296.0				
	和円商事	再生原料	0.0				
	和円ｸﾘｰﾝ･ｴﾁｺﾞ	再生原料	0.0				
	豊栄化学	フォーミング抑制剤（副資材）		52.0			
	北越ｺｰﾎﾟﾚｰｼｮﾝ	フラフ燃料（代替燃料）			0.0		
	トクヤマ	フラフ燃料（代替燃料）			22.0		
	ナコード(太平洋ｾﾒﾝﾄ)	フラフ燃料（代替燃料）			104.0		
	矢島礦業所	安定型埋立				161.0	
	埼玉県環境	管理型埋立				0.0	
混合	三島谷興産	セメント原料	499.0				920.0
	大瀧商店	フォーミング抑制剤（副資材）		0.0			
	エコクルジャパン	フォーミング抑制剤（副資材）		0.0			
	苫小牧清掃社	鎮静済		0.0			
	ツネイシカムテックス	発電原料			130.5	14.5	
	アクトリー	発電原料			262.2	13.8	
合　計			841.0 (52.53%)	52.0 (3.25%)	518.7 (32.40%)	189.3 (11.82%)	1,601.0

☆一次運搬数量・CO2排出量について

※車両（4tｺﾝﾃﾅ）・距離（往復60km）・CO2係数（0.00262t-CO2/ℓ）を基準に算出、1㎥あたり（0.0033t-CO2）。

※混合に含まれる廃プラスチック類の割合は、15.6%となります。

☆中間処理・CO2排出量について

※中間処理に必要とされる電力は、「再生可能エネルギー」を使用の為、（0.000t-CO2)となります。

※中間処理に必要とされる燃料は、１㎥あたり1.15ℓ（0.003t-CO2)となります。

※M：ﾏﾃﾘｱﾙﾘｻｲｸﾙ：マテリアル（物）からマテリアル（物）へと再利用（リサイクル）すること

C：ｹﾐｶﾙﾘｻｲｸﾙ：使用済みの資源を化学的（chemical）に分解し、原料に変えてリサイクルする方法（高温で熱分解など）

T：ｻｰﾏﾙﾘｶﾊﾞﾘｰ：廃棄物等から熱エネルギーを回収すること（廃棄物発電、代替燃料など）

E：エミッション：埋立処分

※上記の定義は弊社中間所以後、仕様先利用用途による

※リサイクル率とは、エミッション以外のリサイクルカウントとしています。